

(様式1) 参観メモ

研究授業の後半(授業参観終了後の協議)で、気づきの交換を目的として、この用紙の「回し読み」を予定しています。他の先生にお読みいただくことを前提に具体的かつ簡潔な記述をお願いします。協議の冒頭に記入時間を5分設けますので、参観中のメモや下書きはこの用紙の裏面または他の用紙をご利用ください。

① 本時の授業で観察された教え方・学ばせ方で特に良かった／効果的と思えた工夫は何ですか。

② その工夫が、学習にどのような効果をもたらしていたと思われますか。

③ その工夫を自分の担当する授業に採り入れる場合、どのようにアレンジする必要がありますか。

所属	高等学校	氏名	
<p>(自己紹介に代えて) 現在、どんなテーマで授業改善に取り組んでいますか。(1)～(4)にお答え下さい。</p> <p>(1) 取り組みの起点となった問題意識：</p> <p>(2) 具体的な取り組み／試していることから：</p> <p>(3) 現時点までの成果：</p> <p>(4) 今後に向けた課題：</p>			

(様式2) グループ協議

グループ協議の成果を3項目以内にまとめて発表していただきます。協議を始める前に、発表者(口述担当)、発表補助者(板書担当)、記録者(この用紙の記入)、および司会進行を決めてください。この用紙は回収し、協議の成果として記録に残すとともに参加者全員に参考資料として配布する予定であります。

本時の授業に見られた 「授業者の優れた工夫」	その工夫により期待される 「より良い学びへの効果」	より大きな効果を得るための 「アレンジの可能性」
i)		
ii)		
iii)		

(様式3) 指導の効果を測定するための課題／設問

本時の学習目標が達成されたかどうかを確かめるのに適切な問い(ターゲット設問)を設定するとしたら、どのような問いになるでしょうか。問いは「理解したことを元に思考し、その結果を表現する」という要素を含むものが好適です。併せて、採点基準(要件列記方式／採点ルーブリック形式)も想定してください。

① 本時の授業を受けた生徒に正解してもらいたい問題、解を導いてもらいたい課題		
②-a 採点規準(正答要件)	②-b 各要件の充足率予測	②-c 充足率を高めるための授業での工夫
③ 解答例		

ご参考記事：[http://blog.kyouikujissen-ofcf.jp/201710/article\\_16.html](http://blog.kyouikujissen-ofcf.jp/201710/article_16.html)

注) ターゲット設問を導入フェイズで示せば、生徒は学習目標をよりよく理解します。答案への仕上げを家庭学習に課せば、知識の整理と定着が図れる上、理解に基づく思考の結果を言語化する機会にもなります。